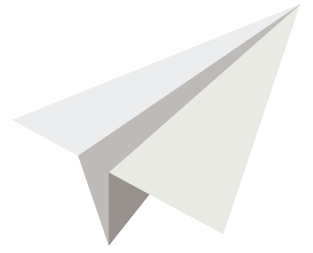


株式会社リニエR 通信

かみひこうき



「よりそうチカラ」 vol.02

共に歩む「小さな一歩（挑戦）」 広がる「大きな世界（未来）」

— 一子どもに豊かな体験を届ける家族と支援者の挑戦 —



Linie



<https://linie-group.jp>



「よりそうチカラ」

—その人らしく生きる日々の寄り添う—



vol.02

—子どもに豊かな体験を届ける家族と支援者の挑戦—

共に歩む「小さな一步(挑戦)」 広がる「大きな世界(未来)」

リニエ訪問看護ステーション川口
理学療法士 渡辺 美里



『K君』

K君は13歳の中学2年生。低酸素虚血性脳症の後遺症があり、気管切開や胃ろうなどのケアを継続しながら生活されています。日常生活には介護者の支援が必要ですが、瞬きや目の動きで「はい」「いいえ」を伝え、痛みや辛さは表情で教えてくれます。普段は体調が安定していますが、発作や痰の増加時にはご両親が吸引などを行い、支えておられます。介護の中心はお母さんですが、お父さんも協力的で、ご両親で支えていらっやいます。

『K君に合わせた支援』

平日は特別支援学校に通い、放課後はデイサービスを利用。さらに外来リハビリやショートステイ、入浴介助などを組み合わせて生活されています。

当事業所のサービスは2021年11月に開始し、現在は週1回、訪問に伺っています。リハビリでは、関節のこわばりや股関節脱臼、背骨の曲がりを防ぐために関節を動かしたり、痰の排出やリラックスのためにうつ伏せ姿勢をとったり、立位や座位で全身に重さをかけて緊張を和らげています。

K君は「立つ」ことが好きで、体調の良い日には意欲的に挑戦していますが、無理はせず、その日の状態に合わせて柔軟に取り組んでいます。

『K君を思う深い愛情』

ご両親は「障がいがあるからできない、とはしたくない」と強く願っています。元氣な

ときにできたであろう体験を諦めるのではなく、できる限り多くの経験や刺激を届けたい。その思いから、ピアノやリトミックも幼い頃から継続されています。音楽は脳への良い刺激になるし、K君自身も楽しんでいる」と語られ、発表会にも参加されています。さらに、キャンプや田植え体験、サッカー観戦など、地域の人々と触れ合う機会を大切にされています。「色んな人と関わってほしい。抱っこで移動できる今だからこそ、元氣なうちにたくさんさんの経験をさせてあげたい」と話される言葉には、K君の未来を思う深い愛情が込められています。

『K君の一步』

ご両親は「訪問リハビリも生活の一部であり欠かせないもの」と感じてくださっています。現在の立位練習を通じて、K君の意欲や主体性がさらに引き出され、「自分から一步を踏み出す日」が来ることを心から願っておられます。

方で「K君はキツすぎることは嫌がるし、めんどくさがりな一面もある。だからこそ甘やかしてあげない必要はない」と、ご両親の想いはとても現実的で温かいものでした。

『K君』と「ご両親」

この4年間、ご両親が前向きに取り組む姿勢は常にK君の力になってきました。介護や体調管理には大きな苦労があるはずですが、それを前向きなエネルギーに変えて、ご両親で支え、共に楽しみ、喜びを分かち合う姿は強く心に残ります。

リニエの療育キャンプで様々な体験を届けられていることについても「ありがたい」とおっしゃっていただき、私たちにとっても大きな励みとなっています。これからもK君の体の状態を理解しつつ、ご両親の想いに寄り添い、安心して挑戦できるような支援を続けてまいります。

(理学療法士 渡辺)

伝えたい・共有したい — 言葉が生まれる瞬間

子ども未来事業本部 浅野 ふみ（言語聴覚士）



こんにちは。言語聴覚士の浅野です。今回は「言葉」について詳しく考えてみたいと思います。私は大学で言語学を学んでいました。言語学と聞くと外国語のことを連想される方が多いですが、言語学とは「言葉」の根本的なしくみを研究する学問です。その中で、私が最も魅力を感じたのが、人はどうやって言葉を獲得するのかという分野でした。これだけAIが発達した現在でも人間の言語獲得は謎だらけです。

あの有名なチャールズ・ダーウィンは「言語は人間の本能の一種」だと考えました。確かにこの地球上のあらゆる生物の中で言葉による高度な意思疎通が可能であるのは人間だけです。しかし、本能とは生まれつき備わっている、学習を必要としない行動を指すので少し意味が変わってくると思います。一方、現代の最も有名な言語学者の一人であるノーム・チョムスキーの主張

は、人間には生まれつき言語を獲得するためのシステムが備わっているというものでした。この生まれつき備わっているシステムが上手く機能することで赤ちゃんがどんな言語にも適応することが出来ると考えました。これはとても有力な説だと思います。

では、言葉の獲得は先天的に決まっていると考えたくなりますが、私自身言語聴覚士としての臨床経験から言葉の獲得には「生まれつきの力と生まれてからの言語環境」が非常に大切だと思っています。特に乳児期の初期言語の発達に必要不可欠なのは「伝えたい」「共有したい」という気持ちや経験だと私は考えています。「人に自分の気持ちを伝えたい、共有したい」という欲求こそが人間の本能であり、言葉の獲得の根幹の様に思えます。次回は私がそう考えるきっかけになったお子さんについてお話ししようと思います。

人生のステージと役割の移り変わり

— キャリア発達の視点から

精神科サービス推進室 扇 浩幸（作業療法士／公認心理師／相談支援専門員）



みなさま、こんにちは。扇です。今回は「**ライフキャリアアレインボー**」を紹介し、人生には仕事以外にも多くの役割があることを見てきました。今回は、その役割が人生の中でどのように移り変わっていくのか、「**キャリアの発達段階（ライフ・ステージ論）**」という考え方を取り上げたいと思います。

キャリア心理学者のD・スーパーは、人の一生を「**成長期**」「**探索期**」「**確立期**」「**維持期**」「**解放期**」という五つのステージに整理しました。たとえば、子どもが夢を描く「**成長期**」、進路や仕事を模索する「**探索期**」、働き方や生活が安定する「**確立期**」、経験を活かし役割を続ける「**維持期**」、そして役割を少しずつ手放し新しい暮らしを整える「**解放期**」です。

とはいえ、人生は予定通りには進みません。病気や障害によって働き方が変わることもありますし、家庭の事情で学び直しや転職に挑戦する人もいます。たとえば、療養をきっかけに「地域でボランティアを始める」ことは、新しい探索期のスタートといえるでしょう。また、高齢になってから「趣味のサークルに参加する」ことも、解放期における大切なキャリアの一部です。

支援の現場で大切なのは、「今この人はどの段階にいるのか」「これからどんな役割を望んでいるのか」に目を向けることです。働いていなくても、家族として、友人として、地域の一員として担える役割はたくさんあります。キャリアの発達段階を意識することは、その人らしい人生の歩みを一緒に支えるヒントになります。



子ども未来療育キャンプ in 軽井沢 2025

子ども未来療育キャンプ 実行委員長 澤村 清美 (看護師)

『医療的ケア児』と 『重症心身障がい児』のための 『療育キャンプ』

2025年9月5〜6日に、療育キャンプを開催しました。参加者は、医療的ケア児（重症心身障がい児）3名とそのご家族、スタッフ（NSPOT）10名、看護学生ボランティア2名でした。

このキャンプは、日常生活でさまざまな制限を受けやす

い医療的ケア児とそのご家族・きょうだいに「特別な体験」をしていただくこと、そして介護者の方に「自分のための時間」を持つていただくことを目的に、年に一度レスパイト型イベントとして実施しています。今年で3回目の開催となりました。

今回は初めての試みとして「カーリング体験」と「ペンション宿泊」を行いました。カーリングにはご家族・きょうだい・スタッフを含め14名が参加し、インストラクターの指導のもと、基礎からゲームまで体験することができました。防寒対策は行っていたものの、室温が低く、小さなお子さまには途中から観客席で過ごしてもらう場面もありましたが、参加者の笑顔がたくさん見られ、ご家族から「子どもと一緒に特別な体験

ができ、良い思い出になりました」との感想をいただきました。

カーリング終了後は、スタッフとお子さまでペンションに移動しました。今回利用したのは一般的なペンションで、バリアフリー対応ではありません。オーナーさまと事前に入念な打ち合わせを行ったものの、やはり予想外のこともいくつか起こりました。しかし、過去2回の経験やオーナーさまのご厚意もあり、大きな問題なく無事に終えることができました。

私たちは、このようなイベントは「継続すること」に大きな意味があると考えています。その時々で状況や環境は変化しますが、「〇〇だから今年には開催できない」とはせず、来年度も実現できるよう準備を進めていきたいと思っています。

(看護師 澤村清美)

初めての
『ペンション』
&
『カーリング』
体験



2025 in Karuizawa present by BOKODEKO
KODOMOMIRAI RYUUKU **CAMP**



@KODOMO_MIRAI_CAMP

Linie

東京都千代田区神田小川町1-8-8 VORT神田小川町 6F
tel.03-5577-5915 / fax.03-5577-5916
<https://linie-group.jp>

